



# ねりまの文化財

## 平成29年度新規の登録文化財

2月19日、練馬区文化財保護条例に基づき、「五十嵐家文書」「千川堤植櫻楓碑」を登録文化財としました。

指定・登録文化財は、学識経験者で構成される区の文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て教育委員会において決定しています。

これにより区の登録文化財は、有形文化財116件、無形文化財1件、有形民俗文化財46件、無形民俗文化財23件、史跡13件、名勝1件、天然記念物11件の合計211件になりました。このうち特に重要であると認められる指定文化財は46件です。

文化財は、長い歴史を通じて先人たちが築き、守り伝えてきたかけがえのない遺産です。区では、これからも地域文化の創造に不可欠な文化財の保護と活用に努めてまいります。

### 五十嵐家文書

(登録有形文化財)

〈所有者〉練馬区  
〈所在〉石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館

土支田2丁目(下土支田村、後に上練馬村下土支田、練馬土支田町、土支田町)の五十嵐家に伝存した文書類です。明治7年(一八七四)から昭和39年(一九六四)まで119点が残っています。

大山・木曾御嶽・高尾山・成田・武州(みたけ)御嶽の代参講や頼母子講に関する資料があります。また、豊溪小学校(明治22年(一八九九)以降は豊溪尋常小学校)、大泉学園都市分譲、東京市民農園など、地域に関わる資料が残っています。

練馬区  
地域文化部  
文化・生涯学習課  
伝統文化係  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1  
Tel. 03(5984)2442



### 千川堤植櫻楓碑

(登録有形文化財)

〈所有者〉宗教法人 浅間神社  
〈所在〉小竹町1-59

大正4年(一九一五)11月に行われた大正天皇即位の大礼を奉祝して、中新井村、下練馬村、長崎村、上板橋村の千川上水堤に桜と楓を植樹した事績を記した碑です。



板面は、高さ208cm、最大幅82cm、最大厚18cm、台石は地上露出部で、高さ45cm、幅130cm、奥行80cmです。表面には植樹の経緯、石碑建立年月などが、裏面には下練馬村、中新井村、長崎村、上板橋村などの関係者氏名が刻まれています。元は江古田駅南口交差点付近(旭丘1-75)の千川上水沿いにありましたが、第二次世界大戦後に現在地に移設されました。

今回登録した「五十嵐家文書」を石神井公園ふるさと文化館で展示、紹介していきますので、ぜひお立ち寄りください。

〈展示期間〉5月23日(水)まで  
※休館日は月曜日(但し、月曜日が祝日のときはその翌平日)  
石神井公園ふるさと文化館  
石神井町5-12-16  
電話03-3996-4060

練馬区指定文化財一覽

年度	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
名称	小島家文書	南蔵院鐘樓門	北条氏康印判状	町田家文書	中里の富士塚	大八車	服部半蔵奉納の仁王像	長命寺仁王門	春日町出土の壺形土器	妙福寺文書	尾崎遺跡出土品	下練馬の大山道標	下練馬の富士塚
登録年度	昭和62年度	昭和63年度	昭和61年度	昭和63年度	昭和61年度	昭和63年度	昭和62年度	平成元年度	平成元年度	平成元年度	平成3年度	平成3年度	平成3年度

平成元年度	昭和63年度										昭和62年度										昭和61年度										No.	名称	所在地	所有者等																			
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	36	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	井頭のヤナギ	昭和63年度																										
春日町出土の壺形土器	妙福寺文書	加藤家文書	長命寺仁王門	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	町田家文書	氷川神社の狛犬	閻魔・十王像と檀拵	角柱型水盤	氷川神社の水盤	榎本家長屋門	氷川神社の旧拝殿	南蔵院鐘樓門	小島家文書	妙福寺の梵鐘	牛若丸・弁慶図絵馬	双蝶々曲輪日記図絵馬	石幢七面六観音勢至道しるべ	豊島氏奉納の石燈籠	服部半蔵奉納の仁王像	*1長享二年の申待板碑	北条氏康印判状	三宝寺の梵鐘	長命寺の梵鐘	46	田中家資料	金銅製飾具	小竹遺跡出土の大珠	丸山東遺跡出土の石棒	愛染院文書	中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品	旧内田家住宅	内田家の屋敷林	神輿渡御行列図絵馬	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	28	26	24	23	21	20	19	17	15	14
石神井公園ふるさと文化館	南大泉5丁目 妙福寺	土支田4丁目 個人	高野台3丁目 長命寺	大泉町5丁目 氷川神社	東大泉7丁目 個人	氷川台4丁目 氷川神社	大泉町6丁目 氷川神社	氷川台4丁目 氷川神社	石神井台1丁目 氷川神社	南田中4丁目 個人	豊玉南2丁目 氷川神社	中村1丁目 南蔵院	石神井公園ふるさと文化館	南大泉5丁目 妙福寺	高野台3丁目 長命寺	高野台3丁目 長命寺	中村3丁目 良弁塚(管理者)南蔵院	石神井台1丁目 氷川神社	高松3丁目 御嶽神社	(欠番)	石神井台1丁目 道場寺	石神井台1丁目 三宝寺	高野台3丁目 長命寺	28	26	24	23	21	20	19	17	15	14	36	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	井頭のヤナギ	昭和63年度																





(無形民俗文化財)

No.	名称	所在地	所有者等
63	1 探湯の儀	中村3-8	御嶽神社
平成元年度	2 関のぼろ市	関町北4-16	本立寺門前
3 八丁堀三吉囃子	八丁堀三吉囃子保存会(旭町地域)		
4 石神井囃子	石神井囃子連(石神井町地域)		
2	5 中村囃子	中村囃子連(中村地域)	
平成3年度	6 *ちがや馬飾り	※内田安太郎・平成7年死亡により登録解除	
7 *谷原の餅搗き唄	※増島兼吉・平成22年死亡により登録解除		
8 *谷原の麦ボウチ唄	※増島兼吉・平成22年死亡により登録解除		
平成4年度	9 関町囃子	関町囃子保存会(関町地域)	
10 鶴の舞	氷川台4-47 氷川神社	氷川神社宮宿鶴の舞保存会	
11 神輿渡御の御供道中歌	氷川台4-47 氷川神社	氷川神社宮宿鶴の舞保存会	
12 *ちがや馬飾り	※内田和助・平成24年死亡により登録解除		
13 *ちがや馬飾り	東大泉5丁目 加藤義雄		
14 *ちがや馬飾り	※山口勝男・平成21年死亡により登録解除		
5	15 中里囃子	中里囃子連(大泉町地域)	
平成14年度	16 田柄囃子	田柄囃子保存会(田柄地域)	
17 石神井台囃子	石神井台囃子連(石神井台地域)		
18 南田中囃子	南田中囃子保存会(南田中地域)		
19 大山講灯籠立て行事	向三谷大山講	(下石神井1・2丁目地域)	
平成15年度	20 貫井囃子	貫井囃子保存会(貫井・高松地域)	
21 春日町囃子	春日町囃子連(春日町地域)		
22 富士見台囃子	富士見台囃子保存会(富士見台地域)		
平成16年度	23 谷原囃子	谷原囃子保存会(谷原・高野台地域)	
24 白山神社囃子	白山神社囃子連(練馬地域)		
25 北町囃子	北町囃子保存会(北町地域)		
26 上石神井囃子	上石神井囃子連中(上石神井地域)		
27 ちがや馬飾り	北町3丁目 丹羽幸男		
28 ちがや馬飾り	錦1丁目 伊藤弥五郎		

※所有者欄に記載のないものは練馬区所有

◆ 石神井公園ふるさと文化館

石神井町5-12-16  
03(3996)4060

(史跡)

No.	名称	所在地	所有者等
昭和63年度	1 東高野山奥之院	高野台3-10	長命寺
2 *小野蘭山墓	(欠番)		
3 池永道雲墓	練馬4-27	受用院・個人	
4 尾崎遺跡	春日町5-12		
5 池淵遺跡	石神井町5-13		
6 栗原遺跡の竪穴住居跡	氷川台1-7		
7 千川上水跡	城北中央公園	東京都	
8 旧大泉村役場跡	関町南2-4丁目他	東京都	
元	9 田柄用水記念碑	大泉学園町2-2	大泉中島公園
平成14年度	10 千川家の墓	田柄4-27	天祖神社
11 河野鎮平筆子碑	北町2-18	阿弥陀堂・個人	
12 田柄用水跡	春日町3-2	寿福寺	
13 圓淨法師塚	石神井台8-21	けやき憩いの森	
14 観蔵院の筆子碑	春日町5-35	観蔵院	
16	15 南田中4-15	観蔵院	

\*墓誌を追加し名称変更・有形文化財No.98へ種別変更のため欠番

No.	名称	所在地	所有者等
8	1 牧野記念庭園	東大泉6-34	所有者等

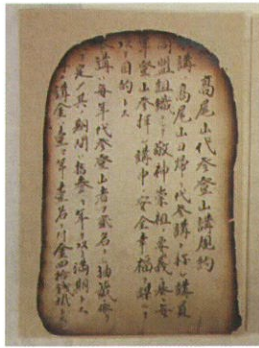
(天然記念物)

No.	名称	所在地	所有者等
平成元年度	1 練馬白山神社の大ケヤキ	練馬4-2	白山神社
2 井頭のヤナギ	東大泉7-34	大泉井頭公園	
3 カタクリ群落	大泉町1-6	稲荷山公園(清水山の森)	
63	4 八の釜の湧き水	東大泉2-27	国
6	5 内田家の屋敷林	早宮3丁目	個人
10	6 練馬東小学校的フジ	春日町1-30	練馬東小学校
16	7 光伝寺のコウヤマキ	氷川台3-24	光伝寺
17	8 開進第一小学校のクスノキ	早宮2-1	開進第一小学校
21	9 土支田八幡宮の社叢	土支田4-28	土支田八幡宮
23	10 井口家の屋敷林	立野町	個人
	11 金乗院の大イチョウ	錦2-4	金乗院

### 五十嵐家文書の修補

【1ページから続く】

五十嵐家文書は、平成20年(二〇〇八)に区に寄贈され、現在は石神井公園ふるさと文化館で所蔵しています。文書は、火災により焼損し、傷みがひどいものもありました。写真のように、焼けた部分が、開けなくなってしまうた帳面、劣化して粉々になってしまいました。そのような文書もありました。このままでは、保存・活用が難しいので、平成27年(二〇一五)12月から翌年3



修補後

(修補して1ページを開いた状態)



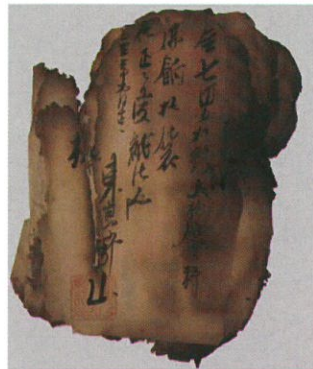
修補前

(開けなくなっている)

月にかけて専門家に修補作業を委託しました。修補作業は、文書の傷み具合が各々で異なるため、作業の機械化は今のところ不可能です。1点ずつクリーニングを行い、文字が記されている部分を損なわないように、慎重に補強用の紙に貼っていきます。このような地道な作業を繰り返してはじめて、保存・活用が可能な状態になります。修補した文書は、劣化しにくい中性紙の封筒に入れて保管しています。



修補後



修補前

4月8日(日)、氷川神社(氷川台4-47)の春祭りで、三年に一度の神輿御行列が催されます。神社から、太鼓、鉦、神輿などをついで行列が、神社の発祥地とされるお浜井戸(桜台6-32)まで歩きます。発祥地まで遷るので「お里帰り」とも呼ばれています。行列は、古くから伝えられてきた「神輿渡御の御供道中歌」(区登録無形民俗文化財)を歌いながら進みます。「さかさばんや、まつかーやーなみの追風さほい風 やどがりよさんよ」で始まる歌は、中世的な詞章を伝えているといわれています。お浜井戸に到着すると、祝詞の後に、獅子舞、鶴の舞(区指定無形民俗文化財)が奉納されます。鶴の舞は、江戸時代から伝わる鶴の擬態芸能です。鶴の冠をかぶった演者二人が、雌雄一対の鶴に扮し、太鼓に合わせて紋付きの羽織を広げ、羽ばたくように舞います。起源は未詳ですが、五穀豊穡や子孫繁栄を願ったとされており、全国的に珍しい民俗芸能です。三年に一度の機会ですので、ぜひご覧ください。

### 三年に一度の神輿渡御行列、鶴の舞が行われます

みこしときよぎょうれつ



鶴の舞(前回)



神輿渡御行列(前回)